

令和元年度 労働安全衛生推進大会

2019年10月01日

去る10月1日(火) 宮崎市のニューウェルシティ宮崎にて『令和元年度 労働安全衛生推進大会』が2部構成で開催されました。



【大会第1部】

初めに挨拶に立った松本会長は建設業界に於いて、ゼロ災害の達成とこれを支える従業員の健康管理が最重要課題であり、合わせて働き方改革への対応も重要になってきていることを強調。今大会で行われる貴重な講話の内容を「今後の現場に於ける安全衛生管理、そして各社の働き方改革に役立てて欲しい」と呼び掛けた。



続いて『表彰式』が行われ、事業所賞に(株)小園工務店・(株)越智工務店の2社が受賞し、個人賞に5名の方々が受賞され、松本会長より表彰状と記念品が贈られました。





その後、来賓として招かれた宮崎労働局健康安全課の岡元秀樹課長より、宮崎県内及び建設業に於ける労働災害の発生状況を説明した上で、墜落・転落を中心に重篤度の高い労働災害の防止に重点を置き、労働災害防止活動の徹底を図る必要性を指摘。互いに連携しながら「効果的・効率的な労働災害防止に努めてほしい」と呼び掛けた。



【大会第2部】

宮崎労働基準監督署の福山栄隆署長と花田愛一郎氏が「働き方改革における労働時間法制度等の見直し」について講演。建設業等に5年間の猶予期間が設けられている時間外労働の上限規制に於ける労務時間管理のポイントや法改正に伴う36協定の変更内容、年次有給休暇の取得義務化の要点を解説して頂きました。

(記事: 青年部広報委員会)